患者向医薬品ガイド

2016 年 11 月更新

# チクロピジン塩酸塩錠 100mg「杏林」

## 【この薬は？】

| | |
|---|---|
| 販売名 | チクロピジン塩酸塩錠 100mg「杏林」<br>TICLOPIDINE HYDROCHLORIDE Tablets 100mg “KYORIN” |
| 一般名 | チクロピジン塩酸塩<br>ticlopidine hydrochloride |
| 含有量<br>(1 錠中) | 100mg |

## 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

## 【この薬の効果は？】

・この薬は、抗血小板剤と呼ばれるグループに属する薬です。

・この薬は、血液の中の血小板の働きを抑えることにより、血管の中で血の塊（血栓）ができやすくなっている状態を改善し血栓症の再発を防ぎます。

・次の病気の人に処方されます。

**血管手術および血液体外循環に伴う血栓・塞栓の治療ならびに血流障害の改善**

**慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍，疼痛および冷感などの阻血性諸症状の改善**

（閉塞性動脈硬化症など手・足の血栓症に伴い、潰瘍、疼痛、冷感などの症状がある人）

**虚血性脳血管障害（一過性脳虚血発作（TIA），脳梗塞）に伴う血栓・塞栓の治療**

**クモ膜下出血術後の脳血管攣縮に伴う血流障害の改善**

・この薬は、体調がよくなったと自分の判断で使用を止めたり、量を加減すると、病気が悪化したり、再発することがあります。指示どおりに使用することが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇血栓性血小板減少性紫斑病（TTP)、無顆粒球症、重篤な肝障害等の重大な副作用が発現し、中には死亡にいたる例も報告されています。副作用を思わせる初期症状を自覚したらただちに医師等に連絡し、指示に従ってください。［この薬の使用中に気をつけなければならないことは？］の項を確認してください。このような副作用は、ほとんどの場合、飲み始めてから 2 か月以内にわかります。

〇飲み始めの 2 か月間は、重大な副作用の早期発見のため定期的に血液検査を行う必要があるので、原則として 2 週に 1 回受診するよう指示されます。その後も定期的に血液検査などが行われます。

〇次の人は、この薬を使用することはできません。

・出血している人
・肝臓に重篤な障害のある人
・白血球が少なくなっている人
・過去にチクロピジン塩酸塩錠 100mg「杏林」などチクロピジン塩酸塩を含む薬で白血球が少なくなったことがある人
・過去にチクロピジン塩酸塩錠 100mg「杏林」などチクロピジン塩酸塩を含む薬で過敏な反応を経験したことがある人

〇次の人は、原則としてこの薬を使用することはできません。

・肝臓に障害のある人

〇次の人は、慎重に使う必要があります。使用する前にそのことを医師または薬剤師に告げてください。

・月経期間中の人
・出血しやすい人
・肝臓に障害があった人
・白血球が少なくなったことがある人
・高血圧の人
・手術（抜歯を含む）を予定している人
・高齢の人
・過去にプラビックスなどクロピドグレル硫酸塩を含む薬で過敏な反応を経験したことがある人

〇この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
一般的に使用する量と回数は次のとおりです。

| 効能・効果（飲む目的） | 飲む錠数 | 服薬回数 |
|---|---|---|
| 血管手術および血液体外循環に伴う血栓・塞栓の治療ならびに血流障害の改善 | 1 日 2～3 錠 | 1 日 2 回、朝・夕、または 1 日 3 回、朝・昼・夕の食後 30 分以内に飲むよう指示されます。 |

| | | |
|---|---|---|
| 慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛および冷感などの阻血性諸症状の改善 | 1日3～6錠 | 1日2回、朝・夕、または1日3回、朝・昼・夕の食後30分以内に飲むよう指示されます。 |
| 虚血性脳血管障害に伴う血栓・塞栓の治療 | 1日2～3錠 | 1日1回、朝・昼・夕のいずれか、または、1日2回、朝・夕、または、1日3回、朝・昼・夕の食後30分以内に飲むよう指示されます。 |
| クモ膜下出血術後の脳血管攣縮に伴う血流障害の改善 | 1日3錠 | 1日3回、朝・昼・夕の食後30分以内に飲むよう指示されます。 |

**●どのように飲むか？**

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲みます。

**●飲み忘れた場合の対応**

決して2回分を一緒に飲まないでください。

気付いたらすぐに1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近いときは忘れた分を抜いて、次回から指示どおり飲んでください。

**●多く使用した時（過量使用時）の対応**

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・飲み始めの2か月間は、重大な副作用の早期発見のため定期的に検査を行う必要があるので、原則として2週に1回受診してください。その後も定期的に血液検査などが行われます。
・けがをしないように注意してください。出血した場合、血が止まりにくくなっています。出血が長引く場合やけがの範囲が大きい場合は、ただちに受診してください。
・手術や歯の治療などを受ける場合、必ずチクロピジン塩酸塩錠100mg「杏林」を飲んでいることを医師に伝えてください。
・風邪などで他の薬を購入する場合は、必ずチクロピジン塩酸塩錠100mg「杏林」を飲んでいることを薬局の薬剤師に伝えてください。
・妊婦または妊娠の可能性のある人は医師に相談してください。
・授乳は避けてください。

## 副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|---|---|
| 血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）<br>けっせんせいけっしょうばんげんしょうせいしはんびょう（てぃーてぃーぴー） | 歯ぐきの出血、鼻血、発熱、皮下出血、あおあざができる |
| 無顆粒球症<br>むかりゅうきゅうしょう | 発熱、のどの痛み |

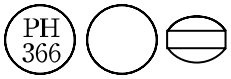
| | |
|---|---|
| 重篤な肝障害（劇症肝炎，胆汁うっ滞型肝障害）<br>じゅうとくなかんしょうがい（げきしょうかんえん，たんじゅううったいがたかんしょうがい） | 劇症肝炎<br>［吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、判断力の低下、尿が黄色い、頭痛、意識がなくなる、嘔吐（おうと）、考えがまとまらない、発熱、意識の低下、羽ばたくような手のふるえ］<br>胆汁うっ滞性肝炎<br>［吐き気、皮膚が黄色くなる、白目が黄色くなる、嘔吐、褐色尿、食欲不振］ |
| 再生不良性貧血<br>さいせいふりょうせいひんけつ | 階段や坂を上る時の動悸や息切れ、鼻血、動悸、息切れ、あおあざができる、めまい、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい |
| 汎血球減少症<br>はんけっきゅうげんしょうしょう | めまい、動悸、耳鳴り、鼻血、出血しやすい、歯ぐきの出血、あおあざができる、息切れ |
| 赤芽球癆<br>せきがきゅうろう | からだがだるい、動悸、めまい、息切れ |
| 血小板減少症<br>けっしょうばんげんしょうしょう | あおあざができる、歯ぐきの出血、出血しやすい |
| 出血（脳出血等の頭蓋内出血，消化管出血等の重篤な出血）<br>しゅっけつ(のうしゅっけつなどのずがいないしゅっけつ,しょうかかんしゅっけつなどのじゅうとくなしゅっけつ) | 脳出血<br>［片側のまひ、吐き気、嘔吐、判断力の低下、半身不随、しゃべりにくい、意識の低下、手足のまひ、しびれ、考えがまとまらない、頭痛、意識を失って深く眠りこむ］<br>消化管出血<br>［血が混ざった便、黒色便、吐き気、血を吐く、腹痛、嘔吐］ |
| 中毒性表皮壊死融解症（TEN）<br>ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン） | 関節の痛み、痛みのある赤い肌、全身の赤い斑点と破れやすい水泡、からだがだるい |
| 皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）<br>ひふねんまくがんしょうこうぐん | 高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹（ほっしん）、まぶたや眼の充血、食欲不振、からだがだるい、結膜のただれ |
| 多形滲出性紅斑<br>たけいしんしゅつせいこうはん | 発熱、関節の痛み、発疹やみずぶくれができる |
| 紅皮症（剥脱性皮膚炎）<br>こうひしょう（はくだつせいひふえん） | 発熱、からだがだるい、皮膚がはがれおちる、皮膚が赤くなる、食欲不振 |
| 消化性潰瘍<br>しょうかせいかいよう | 胃潰瘍<br>［吐き気、嘔吐、胸やけ、みぞおちの痛み］<br>十二指腸潰瘍<br>［吐き気、みぞおちの痛み、押すと痛い、胸やけ、嘔吐］ |
| 急性腎不全<br>きゅうせいじんふぜん | 意識の低下、眼がはれぼったい、疲れやすい、尿量が減る、尿がでない、頭痛、からだがだるい、息苦しい、からだのむくみ |

| | |
|---|---|
| 間質性肺炎<br>かんしつせいはいえん | 頭痛、息苦しい、発熱、から咳 |
| SLE 様症状（発熱，関節痛，胸部痛，胸水貯留，抗核抗体陽性等）<br>えすえるいーようしょうじょう（はつねつ，かんせつつう，きょうぶつう，きょうすいちょりゅう，こうかくこうたいようせいなど） | 顔に蝶型の赤い斑点、発熱、関節の痛み、からだがだるい |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位 | 自覚症状 |
|---|---|
| 全身 | 発熱、からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水泡、高熱、押すと痛い、疲れやすい、からだのむくみ |
| 頭部 | 頭痛、めまい、意識の低下、考えがまとまらない、意識がなくなる |
| 顔面 | 鼻血、顔に蝶型の赤い斑点 |
| 眼 | 白目が黄色くなる、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、眼がはれぼったい |
| 耳 | 耳鳴り |
| 口や喉 | 吐き気、嘔吐、歯ぐきの出血、のどの痛み、しゃべりにくい、血を吐く、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、から咳 |
| 胸部 | 吐き気、動悸、息切れ、息苦しい、胸やけ、階段や坂を上る時の動悸や息切れ |
| 腹部 | 吐き気、食欲不振、みぞおちの痛み、腹痛 |
| 手・足 | 関節の痛み、羽ばたくような手のふるえ、片側のまひ、半身不随、手足のまひ、しびれ |
| 皮膚 | あおあざができる、皮膚が黄色くなる、皮下出血、痛みのある赤い肌、全身の赤い斑点と破れやすい水泡、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、発疹やみずぶくれができる、皮膚がはがれおちる、皮膚が赤くなる |
| 便 | 血が混ざった便、黒色便 |
| 尿 | 尿が黄色い、褐色尿、尿量が減る、尿がでない |
| その他 | 出血しやすい、判断力の低下、出血が止まりにくい、意識を失って深く眠りこむ、陰部の痛み |

## 【この薬の形は？】

| 形状 | 円形の錠剤<br>  |
|---|---|
| 直径 | 8.2mm |
| 厚さ | 4.4mm |
| 重さ | 200mg |
| 色 | 白色 |
| 識別コード | PH366 |

## 【この薬に含まれているのは？】

| 有効成分 | 日局チクロピジン塩酸塩 |
|---|---|
| 添加物 | 乳糖水和物、トウモロコシデンプン、クエン酸水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール6000、タルク、酸化チタン |

## 【その他】

**●この薬の保管方法は？**

・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

**●薬が残ってしまったら？**

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社:キョーリンリメディオ株式会社(http://www.kyorin-rmd.co.jp)
学術部
電話番号：０１２０－９６０１８９
受付時間：９時～１７時
（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）